

第27号



ニュース

ニュース

\*加盟団体\*

- ・サンフレッチェ広島
- ・JTサンダーズ
- ・湧永製菓
- ・広島メイプルレッズ
- ・広島ガスバドミントン部

- ・NTT西日本広島ソフトテニスクラブ
- ・中国電力陸上競技部
- ・コカ・コーラウエストレッドパイクスホッケー部
- ・広島東洋カープ

キリンカップでMF森脇が念願の日本代表デビューを果たし、FW李忠成が初先発した。

森脇は1日のペルー戦の後半30分、伊野波に代わって右サイドバックとして登場。「ミスを恐れずプレーできた。世界と戦える感触」と15分間のピッチにも手ごたえをつかんだ様子だった。

李は最終戦、7日のチェコ戦で初先発フル出場。最前線でポスト役としてクロスをとってチャンスを出した。シュートは1本だったが「及第点以上」と存在感を示し満足そう。



森脇、代表デビュー  
キリンカップ 李は初先発

ナビスコ杯

初戦ドロー

ナビスコ杯は5日開幕。サンフレッチェは地元で川崎と1回戦を行った。昨年準優勝の雪辱に燃える第1戦だったが、終了直前追いつかれる痛恨の引き分けスタートとなった。多くの主力を欠く布陣だったが、服部、ムジリの得点で逆転した。しかし残り2分にCKから同点とされた。第2戦は7月27日、等々力競技場で行われる。

初優勝へ大声援を  
来月9・10日地元戦



ホッケー日本リーグで初優勝を狙うコカ・コーラウエストは7月9、10日地元コカ・コーラホッケースタジアムで東海学院大、ソニーと対戦する。特にソニー戦は「優勝」の行方を占う大一番。地元ファンの声援を追い風に勝利が期待される。9日が15時、10日は14時開始。

代表に駒沢・小野・大田  
チャンピオンズチャレンジIで優勝  
チャンピオンズチャレンジIは18日からアイルランドで開かれ、日本代表に駒沢、小野、大田の3人が選ばれ、決勝で米に3:2で勝ち優勝した。

シングルス王国 復活の兆し

長江 2年ぶりV

全日本選手権

佐々木は準優勝



《男子》  
▽1回戦  
館越4-0香川(なかよレク)  
岩崎 棄権 田中(小津ク)

▽2回戦  
村上 棄権 中西(汎愛高)  
館越2-4黒羽(ふれあい)  
高川3-4村上(黒沢尻北高)  
水澤1-4土井(なかよし)  
原4-2藤倉(朝霞市連盟)  
堀4-0藤田(小松市立高)  
森本4-0平久保(和歌山北高)  
岩崎4-3南原(教友ク)  
長江4-0齋藤(川崎重工業)

▽3回戦  
村上4-2菅野(川口市役所)  
原4-3泉山(早大)  
堀4-1柴田(同大)  
森本4-0星野(枚方信金)  
岩崎0-4桂(早大)  
長江4-0杉尾(大鹿印刷)

▽4回戦  
村上4-1河村(天理大)  
原1-4中本(大阪アカカ)  
堀1-4花田(京都市役所)  
森本1-4玉川(三重高ク)  
長江4-2丸中(東北高)

▽5回戦  
村上3-4工藤(東北高)  
長江4-2稲積(日体桜友会)

▽準々決勝  
長江4-2桂(早大)

▽準決勝  
長江4-2玉川(三重高ク)

▽決勝  
長江4-1松崎(早大)



ソフトテニスの全日本シングルス選手権は5月21、22日に大阪市のマリテニスパーク北村で開かれ、NTT西日本広島勢は男子の長江が昨年準優勝の雪辱を遂げ、早大時代の一昨年に続き2年ぶり2度目の優勝を飾り、女子の佐々木は自己最高ながら惜しくも準優勝だった。  
“シングルス王国”の勢を取り戻そうと臨んだ今大会。そのほかでも塔田がベスト8、村上、大庭がベスト16入りと気を吐き、復活の兆しが見えてきた。なお、高川は初戦(2回戦)で高校生に敗れた。

塔田8強、村上・大庭は16強

《女子》  
▽1回戦  
三好4-1前田(松蔭学院大)  
伊東4-1長谷(千里金蘭大)  
小林1-4柏原(松蔭学院大)

▽2回戦  
三好4-3府藤(ヨネックス)  
伊東2-4中川(ナガセケンコー)  
水間4-3藤本(東芝姫路)  
大庭4-0酒井(昭和学院短大)  
塔田4-0花(信愛女短大付高)  
佐々木4-0中山(天沼ファミリー)

▽3回戦  
三好1-4膳亀(タカギセイコー)  
水間4-3宮下(タカギセイコー)  
大庭4-2西村(信愛女短大付高)  
塔田4-3佐藤(タカギセイコー)  
佐々木4-3長友(松蔭学院大)

▽4回戦  
水間0-4阿部(ナガセケンコー)  
大庭0-4小林(尽誠学園高)  
塔田4-3長(ヨネックス)  
佐々木4-1柿崎(日体大)

▽準々決勝  
塔田1-4深澤(東芝姫路)  
佐々木4-3徳川(タカギセイコー)

▽準決勝  
佐々木4-3深澤(東芝姫路)

▽決勝  
佐々木1-4杉本(東芝姫路)

子どもらと交流深める スポーツフェスタ

スポーツフェスタ2011が25日、東区スポーツセンター一帯で開かれ、トッpsから選手、スタッフ40人余が参加、体力テストや教室などで幼稚園児から中学生まで約700人と交流。スポーツの楽しさ、素晴らしさをアピールした。





## カメラでのぞいた ファン感謝デー



## 日本陸上選手権

# 田子・岡本 5位

1500M 10000M

中国電力  
陸上競技部

陸上の世界選手権(8月・大邱)代表選考会を兼ねた日本選手権は10日から3日間、埼玉県熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で行われた。

### 《日本選手権 成績》

- ▽1500M 新
- ⑤田子 康宏 3分49秒41
- ▽5000M 新
- ⑦石川 卓哉 13分44秒87
- ⑬岡本 直己 13分51秒12
- ▽10000M 新
- ⑤岡本 直己 28分25秒24
- ⑩石川 卓哉 28分47秒05

中国電力からは1500Mに田子康宏、5000Mに石川卓哉と岡本直己、10000Mに岡本と石川の3人が出場した。

田子は3分49秒41で5位に入賞。5000Mでは石川が追い上げも実らず13分44秒87で7位、岡本は13分51秒12で13位だった。10000Mの岡本は28分25秒24で5位、初の入賞を果たした。石川は28分47秒05で10位。

ゴールデンゲーム in のべおか 田子 1位  
ゴールデンゲーム in のべおかは5月28日に行われ、1500Mに出場した田子康宏は3分41秒50で1位と気を吐いた。

バレーボールのワールドリーグは5月27日開幕、7月10日まで欧州各地で開かれているが、JTからリベロ酒井大佑、セッター菅直哉が選出された。

また、日本のほか中国、韓国、タイの4カ国で争うアジア太平洋杯福岡国際大会は17日から3日間、福岡市民体育館で行われ、ユニバーシアード候補のメンバーにセッター・深津旭弘、ミドルブロッカー・寛本翔昂が選ばれた。

大会は日本が韓国、タイに合わせて3セット落としが3戦全勝で制し、3連覇を達成した。

代表に酒井・菅、深津・寛本  
ワールドL 福岡国際



## 広島ガスA 中国実業団 V3

### 《広島ガス 成績》

- ※予選リーグ
- ▽A組 (Aチーム)
- 3-0三洋電機 CE・B
- 3-0岡山ガス
- 2-1山陰合銀 A
- ▽B組 (Bチーム)
- 2-1三洋電機 CE・A
- 2-1山陰合銀 B
- 0-3ACT SAIKYO
- ▽準決勝
- A2-0三洋電機 CE A
- ▽決勝
- A2-1山陰合銀 A
- 橋本・小池2-0新藤・戸田、武田0-2山本、井上静2-0新藤

バドミントンの中国実業団選手権は5月21、22日、松江市鹿島総合体育館で開かれ、広島ガスAが3年連続14度目の優勝を飾った。

広島ガスAは予選リーグA組を3戦全勝、1位で勝ち上がり、準決勝は三洋電機 CE・Aを2-0、決勝では山陰合銀Aを2-1で下し、女王の座を守った。

同Bは予選リーグB組で3チームが2勝1敗で並んだが、得失点差で3位となり、予選リーグで敗退した。

Bは得失点差で予選L敗退



## どうした！ 交流戦最下位

### 《プロ野球交流戦 勝敗表》

	試合	勝	敗	分	勝率
① ソフトバンク	24	18	4	2	.818
② オリックス	24	15	7	2	.682
③ 日本ハム	24	16	8	0	.667
④ 中日	24	14	10	0	.583
⑤ 西武	24	12	11	1	.522
⑥ ヤクルト	24	10	12	2	.455
⑦ 巨人	24	10	13	1	.435
⑧ 阪神	24	10	14	0	.417
⑨ 楽天	24	9	13	2	.409
⑩ ツテ	24	8	14	2	.364
⑪ 横浜	24	7	13	4	.350
⑫ 広島	24	6	16	2	.273

プロ野球交流戦は19日終わり、カーブは6勝16敗2分けで最下位だった。

リーグ戦で2位につけるなど快調なスタートを切ったカーブだったが、交流戦に入ると一気に勢いが止まった。

リーグワーストの50イニング連続無得点や12年ぶりの10連敗。しかもこの間零封負けは4連続を含め6度と打撃陣が極度の不振に陥った。

全日本実業団選手権から衣替えしたハンドボールの全日本社会人選手権が7月13日から5日間、函館市民体育館などで始まる。シーズン開幕を告げる大会で、湧永製薬、メイプルレッズとも新監督で巻き返しを図る。

湧永製薬は予選トーナメント2回戦から登場、琉球コラソンとトヨタ紡織九州の日本リーグ勢の勝者と戦う。勝てば4チームによる決勝リーグに進出する。「復活宣言」の玉村新監督で4年ぶりの制覇に挑戦。

女子は5チームによるリーグ戦で頂点を競う。メイプルレッズは北國銀行、ソニーセミコンダクタ九州、オムロンのリーグ勢とのしのぎあいになる。ここで優位に立てば4戦目が香川銀行だけに、6年ぶりの女王の座が見えてくる。



来月  
シーズンイン

13日から全日本社会人選手権



\*ロゴマークの意味\* 広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。